

2022年度入学式 学長式辞

神奈川大学に入学された学部生の皆さん、そして大学院生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

新入生の皆さんはもちろんのこと、ご家族・ご親族の皆様も大変お慶びの事と存じます。神奈川大学すべての教員と職員、そして1万3千人を超えるすべての在學生は、新入生の皆さんを桜咲く神奈川大学のキャンパスに心から歓迎いたします。

さて、私たちは人間として「変化」の中で生きてきました。私たちの身の回りには、さまざまな変化があります。この2年間、新型コロナウイルスのパンデミックにより、世界の人々は生活が大きく変化し、苦しんできました。皆さんも、高校生として、そして大学生として十分対面での教育を受けることができず、思うように学習や研究ができず、辛い思いもあったでしょうし、進学への不安もあったかと思えます。その逆境をはねのけて、神奈川大学に合格し、今日を迎えることができたことに敬意を表しますと共に、改めてお祝いを申し上げます。

本学も、この間、コロナ対策に腐心してまいりました。一昨年度は、感染防止のためほとんどの授業をオンラインとせざるを得ない状況でありましたし、昨年度も大人数の授業はオンライン授業となりました。実験や実習の授業も思うに任せぬことが多かったことかと思えます。急に襲った社会の変化になんとか対応して、この逆境を乗り越えて最善の教育を行おうと、すべての教員、すべての職員で努力してまいりました。このパンデミックによる社会の変化の中で、教育のネガティブな面を嘆くだけでなく、新たな未来に通じる教育も生み出されております。

この間、神奈川大学のほとんどの講義室のIT設備の充実が図られ、ZOOMによるオンライン授業あるいは対面授業を同時に行うハイブリッド方式の授業をいつでも行う事ができるシステムを構築しました。そのおかげで、私が指導する大学院博士前期課程の中国からの留学生は、一度も日本に来ることなく、北京にいたまま日本語で修士論文を作成し、無事に本学で学位を取得することができました。これは、今までには考えることができない日本の大学の大きな変化です。

さらに、新しく創設された国際日本学部歴史民俗学科の学生は、授業の中で、江戸時代からの疫病である「麻疹」に打ち勝つと信じられた「麦殿大明神」を降臨させました。これは、コロナ退散を祈るために、さらにコロナによって交流が少なくなった教員と学生、そして学生と学生の交流を願って本学の学生によって作られたものです。

そのほか、コロナ禍の中で、さまざまな教育の新しい動きが数多くのマイナスの変化を、プラスの変化に転換させようとしてきた努力も、私たち人間を進化させてきたのです。本学も、ポストコロナ社会あるいはウィズコロナ社会の中で、新たな大学教育の変化を模索していく覚悟です。

神奈川大学は、今、大きく変化しています。2020年度に国際日本学部を開設し、2021年度にみなとみらいキャンパスを開設しました。そこには、横浜キャンパスから移転した外国語学部と新設の国際日本学部、そして湘南ひらつかキャンパスから移転した経営学部の3つの学部が集まりました。

神奈川大学はさらに変化します。今年度、建築学部が開設されました。建物を造るだけでなく、私たち人間が生活する空間や環境、まち、そして安全性まで総合的に考える社会科学、人文科学、芸術学、人間科学、自然科学などを含んだ新たな「建築」学部です。そして、来年度には理学部が湘南ひらつかキャンパスから横浜キャンパスに移転します。理学部、工学部、建築学部の3学部に加え、2023年度には、現在設置構想中の化学生命学部と情報学部を新設して5学部となり、理工系の学部が横浜キャンパスに集結します。

大学の教育組織や教育施設の変化だけでは、大学の教育は変わりません。その中で教員がどのような教育を行うのか。教育の質の改革が必要です。それには学生の皆さんを本学に迎え、教員と学生が教育を通じてどのように触れ合っていくのかという教育方法を変化させていくことが重要です。神奈川大学の変化は、更に加速します。

このような本学の変化は、1928年に本学の前身である「横浜学院」が創立された当時から受け継ぐ「伝統」に裏打ちされています。創設者の米田吉盛先生は、「中正堅実」な青年を一人でも多く世に出すことを目的に本学を創立したと語っています。「中正」とは偏った思想を持たないということで、真理に基づいた考えを「堅実」に育むことを意味しています。この目的のために、本学が掲げた教育方針が「質実剛健」と「積極進取」です。「質実剛健」とは、堅固な思想を持ち、真理に対して誠実で正しい信念を貫くことで、正しい学問に取

り組む大学の精神を示しています。「積極進取」とは、自由な発想を持って自ら積極的に新しい物事へ取り組んでいくことを表し、未来の変化に立ち向かう学生、大学人に必要な精神です。本学における建学の精神は、新入生の皆さんが大学生、そして大学院生として学問や研究の道を進むために必要な真理を示しています。

この建学の精神を、入学後も改めて、そして何度も考えていただきたいと思えます。新入生の皆さん一人ひとりにとって、本学への入学は人生における大きな変化になるはずです。不安も大きいと思えます。また、期待も大きいかと思えます。

神奈川大学は、新入生の皆さんの変化に寄り添い、できる限り支援をしていきたいと思っております。本学のすべての教員、すべての職員、そしてすべての在学生である先輩たちとともに変化する神奈川大学を共に創りあげていきましょう。

ここにいるすべての新入生の皆さんに、改めて「入学おめでとう」の言葉を贈り、祝辞とさせていただきます。

2022年4月3日

神奈川大学長

小熊 誠